

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



生かされたか あなたの一票

6月定例会

平成12年度一般会計補正予算	2
入善町管内の公共事業進捗度	4
常任委員会レポート	6
一般質問～町政を問う（9議員）	8
町発注工事入札結果表（4月～6月）	18
研修視察（2常任委員会）	19
各種団体・傍聴席からひとこと	20

No.114

2000年7月27日
(平成12年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町火籠3255
☎0765(72)1100 0765(72)4711

暑中お見舞い申し上げます

入善町議会

特別養護老人ホーム建設費を補助金へ 「審査機能が働くか？」議会が指摘



施設入所待機者が増えている

平成12年度 一般会計補正予算

6月議会に提案された、平成12年度一般会計の補正予算は、歳入歳出をそれぞれ総額1億99万4000円を増額し、総額1億15億1449万4000円とした。

特に今回の補正予算の主なもの、町民がその建設を待望していた、特別養護老人ホームの建設用地の取得にかかるもの。

当初、町が購入することになっていたものを、「社会福祉法人おあしす新川」への補助金に予算が組み替えられた。そこで、議員から「法人の管理や建設に関してのチェックをどのように果たしていくのか」と質問が集中した。

このほか、林道の開設や墓ノ木自然公園の整備などが新たに予算化された。

特別養護老人
ホーム建設
補助金
7840万円

特別養護老人ホームの建設用地を購入するため、社会福祉法人おあしす新川へ補助金として交付する。

この土地取得については、当初、町が直接購入する予定だったが、施設を建設するとき、土地が社会福祉法人おあしす新川の名義になっていないと、建設資金が調達できなくなるおそれがあり、今回の補助金への変更になったとの説明があった。

なお、当初予算に組まれていた土地購入費7680万円を組み替え、土地の一部値上げ分160万円を追加上、補助金に組み替えた。社会福祉法人おあしす新川の子算執行や、事業実施に対する町としてのよう

議会としては、これから行われる施設の建設など補助金の使途について、チェックを行う機能を持つよう町当局に提言した。

また、議会としても、この社会福祉法人の運営補助についての審査を行う予定である。

武村福祉会館
改装費
530万円

建設中の健康交流プラザに、社会福祉協議会や健康づくり係が移転することになり、二階部分を改装する。

そして、現在上原の合同庁舎にある教育センター、教育相談室、黒部川扇状地研究所が入居することになる。

高齢者生きがい
事業対策
補助金
99万円

高齢者に働く喜びと、生きがいのある活動を支援するため、シルバー人材センターと老人クラブの活動に対し補助金を増額する。

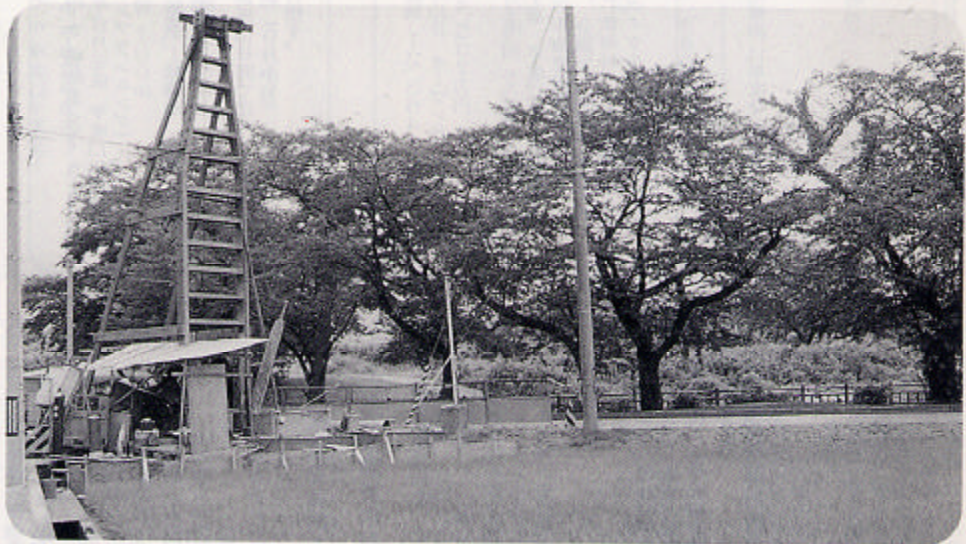
要援護対策
事業費
55万円

一人暮らしの高齢者を対象に、給食サービスを40食増やし、新たにデイサービスセンターおあしす新川に委託する。また一人暮らしの高齢者への声かけ運動を展開し、援護活動を支えてもらう福祉推進員を36人増員し、124人とする。



デイサービスセンター竣工

公園施設維持
管理費
1200万円



墓ノ木自然公園整備のさく井

改善が望まれていた墓ノ木自然公園のキャンプ場を整備する。
第2キャンプ場にかまどや水道の炊事設備やトイレを整備し、利用者の要望に応える。

観光事業費
738万円

国民体育大会開催にあわせ町を全国にアピールし、イメージアップを図る。

人権擁護委員

前田郁子氏ふみ(再)の推薦に同意



入善町小杉2223

固定資産評価審査委員

広野力氏つとむの選任に同意



入善町固定資産評価審査委員会委員の道下 隆氏は平成12年6月30日で任期が満了となるため、その後任として選任した。

入善町青木1451

入善町管内の公共事業進捗度

健康交流プラザ(サンウエル) — 入善町上野地内

- ア、総事業費 2221.330万円 イ、用地費 16.3221.6万円(13395.3㎡)ウ、国県補助金 1億円
- エ、工期 平成12年7月26日竣工式 8月4日 オープン 8月5日 オ、工事進捗率 96.0%
- カ、設計費 7,967.6万円(金沢計画研究所) キ、設計管理費 2,723.7万円(金沢計画研究所)
- ク、工事費 174.529.5万円
- 1、建築本体 97,534.5万円(機付シタ、中山建設機) 2、電気工事 27,195万円(北陸、米沢電)
- 3、空調工事 26,145万円(機付シタ、中山建設機) 4、給排水工事 15,204万円
- (吉枝、吉田工務店) 5、井戸工事 929万円(本田工業) 6、植栽工事 928万円(木村造園土木)
- 7、道路改良 1,732.5万円(大勝建設機) 8、道路舗装 2,520万円(広川建設工業機)
- 9、ネットワーク設備 1,029万円(NECシステム建設) 10、展示設備 1,312.5万円(ヒエル)

特別養護老人ホーム

入善町上野地内

- ア、事業主体 社会福祉法人「おあしす新川」 イ、総事業費 113,140万円ウ、補助金 37,814万円
- エ、用地費 7,840万円(7670㎡) オ、進捗率 5% カ、工期 平成13年8月完成 平成13年10月オープン予定
- ク、設計費 3,726万円 設計管理費 1,000万円(機付サンフランシスコ)
- 1、敷地造成費 950万円(日本海建設運輸機) 2、本工事 建築本体、電気、給排水、空調、外構
- 井戸、植栽 平成12年9月発注予定 3、医療機器、備品 平成13年度発注予定
- ク、施設内容 入居人員 50名 ショートステイ 20名
- コ、進捗状況 国庫補助内示(7月中旬)→第一種社会福祉事業認可申請(申請後15日間で認可)→実施設計
- 契約(8月中旬)→工事指示→入札事務(1カ月)→入札、契約(9月中旬)
- 手続申請に時間がかかっている。強力で推進し早急に完成を目指す。

武道館

入善町上野地内

- ア、総事業費 25,221万円 イ、田舎成館補償費 土地 3,138万円 建物 12,364.3万円
- 計 15,464.3万円 ウ、工期 平成11年10月/平成12年8月 竣工式 8月10日 オープン 8月20日予定
- エ、進捗率 60% オ、設計費 645.8万円(二四五設計) カ、用地費 4,537万円
- ク、工事費 26,073.2万円
- 1、建築主体 18,144万円(五十里工務所) 2、電気工事 2,394万円(入善電気工業)
- 3、給排水空調 1,879.5万円(上田管工事工業所) 4、外構、植栽工事 平成12年7月発注予定
- 5、敷地造成 278.2万円 6、田舎成館解体 577.5万円(日本海建設運輸機)
- ク、施設内容 柔道1面(256㎡) 剣道1面(256㎡) 男女更衣室 トイレ 会議室 談話コーナー
- ケ、運営 入善町生涯学習スポーツ課総合体育館 中込は 1週開館 コ、使用料 一般1面 半日(午前午後共700円) 1日(1,400円) 夜間17:00~21:30 800円) スポーツ少年団は半額

東町町営住宅建替工事

入善町東町地内

- ア、総事業費 236,940万円 イ、用地費 89,596.5万円 ウ、国県補助11年度分 5,370.4万円
- エ、工期 平成11年/平成16年 A棟 12年度完成 オ、進捗率 3.0%
- カ、工事 A棟
- 1、設計管理費 2,299.5万円(制建築設計事務所)
- 2、敷地造成費 3,832.2万円(広川建設工業機) 平成12年8月完成
- 3、建築本体、電気、給排水、等 平成12年9月発注予定
- キ、施設内容(A棟)
- 鉄筋コンクリート3階建 延面積 1105.42㎡ 戸数 15戸
- 公営住宅 一般 6戸 高齢者対応 3戸 特公賃(所得制限) 6戸

下水道工事

平成12年度施行分

- 公共下水道委託金 事業費 136,016万円 平成12年6月30日発注額 4,031.5万円
- 特別環境公共下水道 事業費 71,409万円 (小指戸 263,289.15)
- 農業集落排水事業 事業費 87,181万円 (新屋 233,289.15)
- 入善浄化センター委託 事業費 82,200万円
- 農耕浄化センター 事業費 11年度発注(前田、真岩JV) 39,375万円 工期 平成12年10月
- その他委託工事 事業費 10,750万円(JR横断) 平成13年1月
- 進捗率 60% 供用開始 平成12年11月
- (无ファイバー測量設計委託等発注予定)
- 工事内訳 公共下水 管工事 1.5km 14,440万円(13区、17区、役場付近)
- 特別環境 管工事 6.0km 54,950万円(木根、横山、道市、柳原、吉原地区)
- 測量設計 新屋 4,000万円(上野3区、棚山新、上田、木根目川地区)
- 農業排水 管工事 小指戸 7.5km 61,450万円 新屋 1.4km 11,080万円
- 測量設計 新屋 6,200万円
- 入善浄化センター(日本下水道事業団委託) 11年度 水処理施設 33,200万円(関口、広川JV) 工期 平成13年3月 進捗率 65%
- 12年度 管理棟 30,550万円(朝野、共和JV) 工期 平成13年3月 進捗率 63%
- その3工事 16,800万円(関口、広川JV) 6月30日発注
- その4・5工事 管ホールポンプ、流入放流、浄内整備 10月末発注予定
- 電気、機械、自家発電工事 6/8月発注予定
- 汚泥処理、運転操作設備 12月中発注予定
- 井戸工事(藤田工業) 945万円 6月16日発注
- 場内整備(道路、水路、植栽) 10月末発注予定
- 町直接発注分

海洋深層水利用事業

- A、深層水取水事業(事業主体入善町)
 - ア、事業費 69,326.6万円 イ、用地費 520万円(ポンプ室) ウ、国県補助 28,980万円
 - エ、設計費 4,641万円 基本、実施設計(財団法人漁港漁村建設技術研究所) 工期 7月31日
 - オ、工事費 取水管製作、配管工事 平成12年9月発注予定
 - 揚水ポンプ、ポンプ場工事 平成12年10月以降発注予定
 - 陸上送水管工事 900m 平成12年10月以降発注予定
 - 取水位置により変更あり
- B、蓄養事業(建設主体入善町、運営漁業協同組合)
 - ア、事業費 5,000万円 イ、国県補助金 2,500万円 ウ、工期 平成12年7月/平成12年11月
 - エ、工事 設計管理費 210万円(機東京久栄) 建築、電気、調温工事(建屋) 189㎡、10t水槽4基
 - オ、魚種 定置網漁獲魚種(アジ、フクラギ、ヒラメ、クロダイ、フグ、アワビ、カキ)
- C、養殖事業(事業主体漁業協同組合)
 - ア、事業費 22,400万円 イ、補助金 国 11,200万円 県 2,240万円 町 4,480万円
 - ウ、工事 平成13年度発注予定 発注者 漁業協同組合
 - 工事内容 建屋 1068㎡ 水槽 ヒラメ10t 20基 アワビ2.8t 28基
- D、非水産事業(公設民営)
 - ア、基本構想 策定中
 - 工場誘致 敷地検討 進出企業へのPR 一般町民利用健康福祉施設の検討
 - イ、海洋深層水2000年フォーラム 開催
 - 主催 入善町、北日本新聞社 開催日 平成12年11月中旬
 - 基調講演 パネルディスカッション

富山県入善土木事務所

- A、黒部朝日公園線 道路改良事業 (入善町小摺戸地内)
 - ア、事業内容 橋梁 53.5m 取付道路(右岸)159.5m・左岸 47.0m
 - イ、平成11年度まで 用地補償、取付道路、橋梁下部工
 - ウ、平成12年度発注予定 橋梁上部工事、取付道路工事、用地補償
 - エ、進捗 平成11年度末進捗率 56%
- B、一般県道 富山朝日自転車道線 (入善町高島地内) (湾岸道路)
 - ア、事業内容 橋梁部 50.8m 自転車道 160.0m 計 210.8m 標準幅員 12m
 - イ、平成11年度まで 用地補償、下部橋下部工、上部3径間架設
 - ウ、平成12年度発注予定 用地補償、上部3径間架設、自転車歩行道 90m
 - エ、平成11年度末進捗率 31・6%
- C、都市計画道路、中央通り線道路改良事業 (入善町入勝地内)
 - ア、事業内容 道路改良、舗装 施工延長 28.0m 標準幅員 16・0m
 - イ、平成11年度まで 測量、設計、物件補償、用地買収
 - ウ、平成12年度事業 物件補償、用地買収
 - エ、平成11年度末進捗率 13・5%
- D、急傾斜対策事業 (入善町舟見地内)
 - ア、事業内容 待受擁壁工 施工延長 18.0m
 - イ、工期 平成12年1~平成13年
 - ウ、平成12年度発注予定 待受擁壁
- E、地方特定道路整備(道路改良)事業
 - 1、魚津生地入善線(入善町下上野地内) 平成12年度発注予定 道路改良舗装 13.0m
 - 2、青木吉原線(入善町青木地内) 平成12年度発注予定 用地、道路改良舗装 12.0m
 - 3、金山古黒部線(入善町古黒部地内) 平成12年度発注予定 道路改良舗装 10.0m
- F、地方特定需要対策施設事業
 - 1、舟見入善線(入善町舟見地内) 平成12年度発注予定 消雪工 78.3m 平成12年度完了
 - 2、入善宇奈月線(入善町神林地内) 平成12年度発注予定 消雪工 70.7m 平成12年度完了
- G、県単道路改良事業
 - 1、舟見入善線(入善町小杉地内) 平成12年度 用地補償、側溝工
 - 2、入善宇奈月線(入善町新屋地内) 平成12年度 測量、用地買収
 - 3、小摺戸崎線(入善町下飯野地内) 平成12年度発注予定 改良 13.5m
- H、県単雪害対策施設事業
 - 1、高島上飯野線(入善町上飯野地内) 平成12年度発注予定 消雪工 20.0m
 - 2、藤原島嶼山線(入善町藤原地内) 平成12年度発注予定 消雪工 20.0m
- ア、平成5年度より調査実施
- イ、平成11年度末まで 調査・測量
- ウ、平成12年度調査発注予定 地質、環境、水文調査

J、舟川県単河川改良事業

- 1、舟川河川改良工事(入善町舟見地内)
 - ア、全体延長 78.0m
 - イ、工期 平成9年1~平成12年度発注予定
 - ウ、水路工 21.5m

新幹線建設工事(日本鉄道建設公団)

入善町地内

- ア、既着工工事
 - 1、黒部川橋梁下部工事 ケイソン基礎 11基 直接基礎 5基 橋長 76.1m
 - 2、下部その1工事 ケイソン基礎 6基 直基 3基 168.651・1万円 平成12年6月完成 施行(白石、山久、桜井J.V)
 - 残工事 10月発注予定 平成13年6月完成予定
- 3、BL特定小摺戸工区 125.4m 232.699・2万円(鹿島第一豊産JV) 工期 平成11年11月~平成14年6月
- 4、BL特定新屋西工区 107.6m 198.450万円(シタアイサウ北都JV) 工期 平成12年3月~平成14年12月
- 5、BL特定新屋東工区 88.0m 183.750万円(往友小松田中JV) 工期 平成12年3月~平成14年12月
- イ、工事内容 工事用道路(海側6・5m)・ラーメン高架橋脚 鉄筋コンクリート桁 防音壁 投雪口板
- ウ、地元業者(下請)内容 工事用道路 資機材搬入 鉄筋 型枠工事 等

建設省直轄工事

- A、富山工事事務所分
 - 1、8号バイパス工事(入善黒部バイパス)
 - 新黒部大橋橋梁部 橋長 59.0・1m 上部桁連結完了 床版工事 平成13年1月完成予定
 - 一般部(黒部川、平曾川) 高架橋、ボックス、土工工事完了 舗装工事 平成14年完成供用開始
 - 飯野東地内、布合川地内 1.1km 地元説明会 平成12年7月予定 用地交渉用買 平成13年開始
 - 布合川地内、青木地内 1.5km 地元説明会 平成12年中予定 用地交渉用買 平成13年開始
 - 青木地内、上原地内 0.8km 地元説明会 平成12年中予定 用地交渉用買 平成13年開始
 - 2、一般国道8号工事
 - 入善警察署前横断地下歩道工事 請負金額 17,500万円(共和土木株式会社)
 - 工期 平成12年6月~平成13年10月
- B、黒部工事事務所分
 - 1、光ファイバー管敷設工事 (入善町古黒部地内)
 - ア、請負金額 7,245万円(広川建設工業株式会社) イ、工期 平成12年3月11日~平成12年12月15日
 - ウ、施工延長 434.0m エ、進捗率 30%
 - 2、下飯野離岸堤その2工事 (入善町高瀬地内)
 - ア、請負金額 15,750万円(広川建設工業株式会社) イ、工期 平成12年5月18日~平成12年12月3日
 - ウ、施工内容 離岸堤延長 51m 三基ブロック 30~44個 20~1173個
 - 3、下飯野離岸堤その3工事 (入善町高瀬地内)
 - ア、請負金額 13,020万円(池原建設、折谷建設JV) イ、工期 平成12年5月19日~平成12年12月14日
 - ウ、施工内容 離岸堤延長 49m 三基ブロック 30~38個 20~1152個

レポート

6月9日・12日の2日間、総務、教育福祉環境、産業経済の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

以下、常任委員会の要旨を報告する。

総務

補助がなくても、福祉や教育は計画どおり実施を

都市美化補助金376万3000円減額とあるが、今年も国体開催の年であり、県外から多数来町することから、当初の計画どおりの実施を要望する。

入善西中学校耐震診断事業補助金295万6000円減額しているが、生徒の安全を守る上から、補助がなくても町独自で早期に実施されたい。

社会福祉費補助金39万円の増額は、対象者の拡大や内容の充実であり、少額だが期待するものである。

原発の新增設を認めない等の意見書の提出を求める陳情は、主旨は理解できるが、現段階では意見書提出まではおよばない。

温泉供給に係わる有料化に関する陳情は、過去の契約の経緯や現状調査の必要性から継続審査とする。今後は双方とも十分協議し、円満に対処するよう要望する。



海岸保全整備工事

臨時議会ひらく

入善漁港海岸保全施設整備(その1)工事請負契約を否決

5月15日の臨時議会で、2件の請負契約案件のうち入善漁港海岸保全施設整備工事1件を否決し、本庁内と学校、保育所等をコンピュータ通信で結ぶための機器84台購入1件を可決した。

否決した入善漁港海岸保全施設整備工事の入札には9共同企業体(JV)が参加し、2回とも町の設定した予定価格を下回るJVがなく、成立しなかった。2JVは2回目の入札を辞退している。町は地方自治法施行令に基づいて、2回目の入札で最低金額だった飯

作組・真岩土建工業JVと随意契約し、2億9400万円(内消費税1400万円)で仮契約をした。議員から「予定価格は適正だったのか」、「安易に随意契約するのはおかしい」などの意見や、事業費が3億円近いのに、2回目の入札で最低金額と最高金額の差が80万円という僅少差だったことから「見積り額の差がほとんどない。」

入札をやり直すべき」との意見が出た。

町当局は「入札から随意契約までの過程は適正だった。波の穏やかな時期に限られる工事であり、すぐ着工する必要がある」として理解を求めたが、採決の結果、賛成7人(定数18)で否決した。

町は事業を3分割し、指名替えをして、6月1日、再入札を実施した。

工事その1は、県内に営業所を持つ企業12社による入札の結果、2億6250万円(内消費税1250万円)で坂田建設(株)北陸支店が落札。

議会初日の5日、この請負契約案件を全会一致で可決した。

教育福祉環境

議会のチエツク機能を働かせる体制を望む

特別養護老人ホームの建設は、町民の長年の願望であり、その必要性は十分認識しており、この事業を積極的に進めなければならない。しかし、土地取得や工事発注まで社会福祉法人が行うことから、町や議会が特養施設の建設や福祉法人

常任委員会

の運営についてチェック機能を働かせる事の出来る体制づくりを強く要望する。

武村福祉会館のあり方や将来像を早急に検討することを望む

社会福祉協議会、保健情報室の健康づくり係が、健

康交流プラザに移転し、教育関係機関等が新たに入る。施設の老朽化が進み、抜本的な改修も必要な場合もあると考える。
しかし、市街地における町の中核施設でもあり、改めて施設のあり方や将来像について早急に検討が必要である。

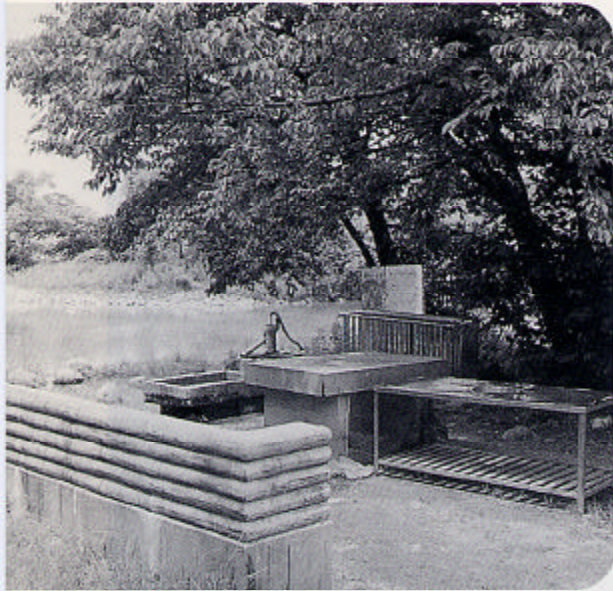
産業経済

海洋深層水事業は 広報活動が必要

海洋深層水活用推進事業費500万円は、この事業を行う町として広くPRす

るための看板等の設置事業費である。町の明るいイメージをアピールするために必要と考える。

しかし、限られた予算であり、設置場所、内容などを十分検討し、より効果的な対応を望む。特にこの事業は、町民が高い関心をもつており、地元の協力を得るためにも、取水場所の明示など、より活発な広報活動が必要である。
町のイメージアップ事業費693万6000円は、名水に関するパンフレット作成や、町内で取水、販売している地下水を「オアシ



改善されるキャンプ場

ス・イン・入善」とネーミングし、国民体育大会にあわせ、PR活動をするものである。町をアピールするものは「水」であり、ぜひとも全国展開に努力された

墓ノ木自然公園 キャンプ場の改善

多くの人に憩いの場、キャンプ場として人気の高い墓ノ木自然公園の炊事施設を改善、整備する。
利用者に不便をかけていたトイレも整備することでもあり、今後一層の利用を期待する。

みなさんの請願

陳情のゆくえ

○国道8号線より入善機械工業センターへの出入時の渋滞を緩和するため、町道上野動兵林線等の拡幅請願
採択

○原発の新增設を認めない等の意見書の提出を求める陳情書……………継続審査

○温泉供給に係わる有料化に関する陳情書……………継続審査

特別委員会のうごき

海洋深層水対策特別委員会

5月22日(月)午前10時より開催し、海洋深層水事業経過報告、入善漁港蓄養施設設計概要説明をうけ、取水事業全体スケジュールについて協議した。

当局から養殖事業の県外調査で、千葉県のアワビ養殖、福島県のヒラメ養殖、石川県のヒラメ、アワビ、サザエ種苗生産などの報告がなされた。

また本年11月末までに用地買収を終えるなどのスケジュールが提示さ

れた。議会側から本事業は町内外注視の新規事業であり万全の体制で当たるよう要望した。

下水道対策特別委員会

5月28日(金)午前10時より開催し、入善町下水道事業実施計画及び財源計画の説明がなされた。

また、入善浄化センター、小摺戸浄化センターを現地視察し、細部説明をうけ、質疑の時間を持った。とくに今回の委員会では「下水道排水設備指定工事店に関する規則」についても審議した。



一般質問

町のキーワードは“水、”

第25回定例会

ここに聞きたい……

町政を問う

9人の議員が登壇

6月議会的一般質問は、8日おこなわれ、9人の議員が質問した。町の活性化対策、公共施設の維持管理をどうするか、この時期に関心がある出し平ダム、宇奈月ダムの連携排砂等について激論が交わされた。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 託老所の開設を
- 断水時の防火対策について
- 出し平ダムの連携排砂について
- 健康交流プラザの今後の対応策
- こみの減量、資源保護対策
- 予定価格の事前公表を
- 深層水事業の問題点
- 公共施設の維持管理の対応
- 漁協の合併について

福祉施策として託老所の開設を

長谷友義 議員

健康福祉課長

町内会で託老所設置の希望あれば
補助金の交付を



楽しい交流の場 地区公民館

問 我が入善町に22.3%、6611人の高齢者がいる。この人達の高齢化に伴う対策を。

寺西健康福祉課長 ご指摘のとおり、町では、社会福祉協議会でふれあいまちづくりの事業の一環として、飯野地区で月1回「飯野ふれあいホーム」を開設している。食生活改善推進員、女性の民生委員の方々がボランティアで協力している。今年度は新たに、横山地区でも行われる予定と聞いている。これらの事業では家に閉じこもりがちな高齢者に社会参加の機会を提供している。このことからそれぞれの地区公民館の果たす役割は大きく、今後も高

齢者の利用しやすい施設にするには、町内の公民館は高齢者にとって最も利用しやすい施設ではないかと思うので、町内の公民館の託老所の利用について町内ぐるみで検討していただきたい。

自治体では福祉サービスの委託や運営費の補助などを行っているところもあり、入善町では住民の皆さんから希望者がおいでになれば積極的に検討していく考えである。

宇奈月ダムで 洪水調整と 貯水を

問 出し平ダムより宇奈月

ダムの排砂が毎秒170㍓多いと聞くと、流域住民は不安でならない。宇奈月ダムに絡む諸問題に対する町長の認識と見解を問う。

米澤町長 黒部川沿いに生まれ育つたために、命をかけて水と闘い抜かれた先人達のご苦勞を、頭の下がる思いでお話を聞かせていただいた。ご指摘の宇奈月ダムは洪水調整、水道水の確保、発電と3つの目的を持った多目的ダムとして、高さ97m、ダム頂の長さ190m、総貯水量2470万㎡、洪水の長さ約5kmにも及ぶ大きさを総工事費約1740億円、21年余りの歳月をかけてこのほど完成したものである。また2市3

町の上水道水として利用するという具体的な話や協議はまだない。もし話が出てくれば、地域的な話をするのは当然だと思う。

また昭和44年8月11日未曾有の洪水で福島南島堤防が決壊、大きな被害が出たことは、記憶に新しいところだが、黒部川は建設省の直轄河川なので、去る5月18日に本省や大蔵省に要望に行ってきた。しかし浦山新や福島、上飯野など右岸には危険箇所があるので、引き続き堤防の強化について要求したいと考えている。



市街地の防火水槽点検



7月に更新された消防車

排砂に伴う断水時の

防火対策について

上野 等 議員

町長

消防水利の確保、消防体制の
強化と広報の徹底

問 出し平ダム及び宇奈月ダムの完成により、排砂に伴う断水時の防火対策は、どのように考えているか。

町長 出し平ダムで排砂等が実施されると、愛本の黒東合口用水の取水口では自動的に取水を停止することになり、入善町ではほぼ全域が完全断水となる。その時間はおよそ60時間、この間の防火対策が重要な課題となる。

第1点は、消防署には、現在3つのタンク車が配備されており、排砂等が実施されたときは関係機関より

10の水槽車を無償で借り受けることになっており、火災時には隣接市町に相互に応援することになっている。第2点は、消防体制の強化と広報の徹底を図っていく。断水の期間については、消防団の夜間巡回と防火広報の実施をお願いすることになっている。このほか、町の防災行政無線による防火広報に力を入れていきたいと思っている。

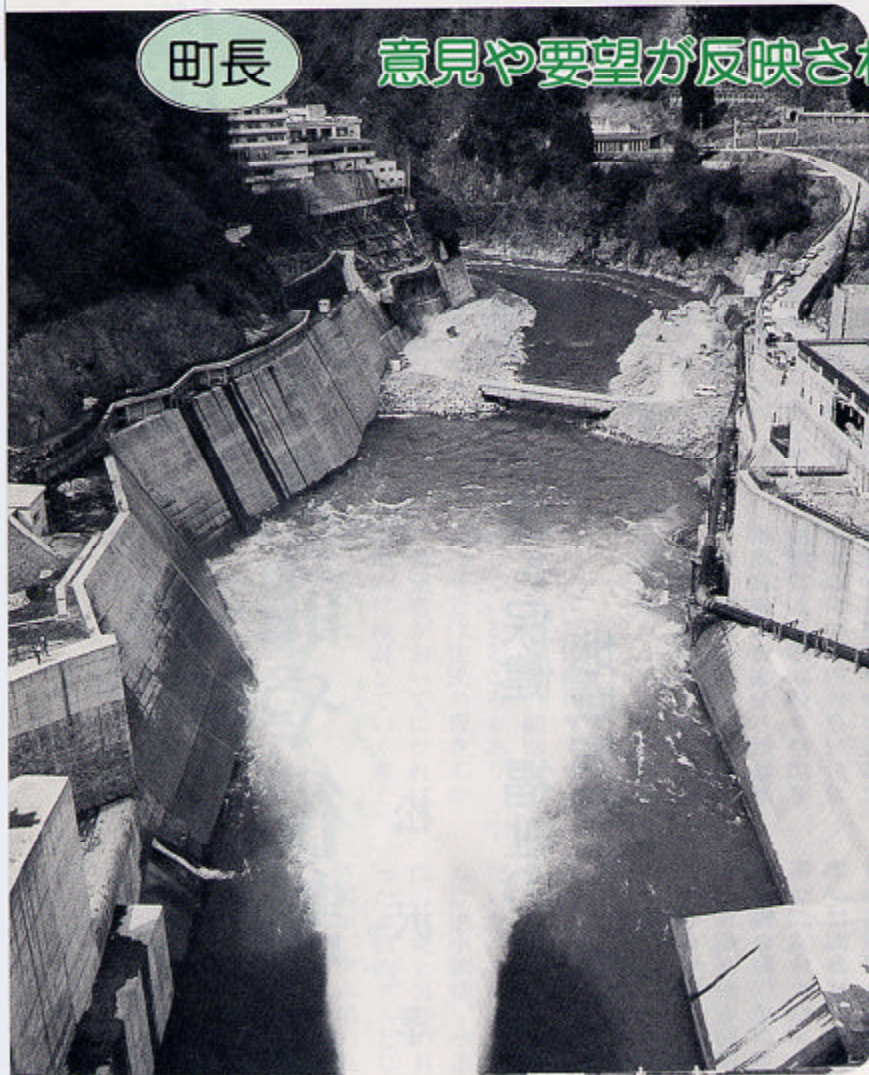
問 防火水槽の設置状況について。

町長 防火水槽の整備状況については、防火水槽59基、消火栓15基、打ち込み式消火栓6基となっている。今までは、消防水利の整備に当たっては、防火水槽を中心に行ってきたが、平成9年度からは新しい試みとして、地下水の豊富な地域を重点に整備であり用地を必要としない打ち込み式消火栓の設置も奨めており、今後は状況に合わせて最適な施設を選択しながら消防水利整備の加速を計って

いきたいと思っている。また、打ち込み式消火栓については、消防署と消防団で連携を図り、随時点検を実施し、今後の水量変化等の基礎資料としたいと思っている。

黒部川土砂管理協議会に 関係団体の代表を

五十里 隆 章 議員



町長

意見や要望が反映されるよう努めていく

連携排砂が心配される宇奈月ダム

問 出し平タムの連携排砂にあたって、土砂管理協議会に農漁業、内水面漁協の代表を加えるべきと考える。町長の見解はどうか。

町長 海面漁業、内水面漁業、農家の皆さんなどの要望等が反映されるよう今後も努めていく。

問 地方分権一括法が施行され、住民参加が求められる。積極的な情報開示、説

明責任にどう応えるか。

町長 各種委員会等を通じて、住民の意見を聞いていく。情報は常に公開していく。説明責任については、十分考慮しながら、議会はもちろん、町民の方々にも広報等を通じて知らせたい。

問 職員の守秘義務について、問題がなかったか。

町長 地方公務員法に規定されており、あつてはなら

ない事である。私を含め、職員に対して、意識の徹底を図りたい。

問 入札における予定価格の事前公表に踏み切る時期をどのように考えるか。

林財政課長 11年度調査では7県、市町村では1・9%と少数である。当面は考えていないが、試験的に検討課題にしていかねばならない。

問 入札時の積算書の添付について、いつから実施されるか。

財政課長 現在5000万円以上の入札執行では、落札者とは契約時に積算書を添付させている。例えば500万円以上の入札のとき、毎回ではないが、抜き打ち的に提出を求めたい。次回、入札時に全業者に周知徹底し、その次の入札から実施すべきと考える。

問 「おあしす新川」が建設する特養施設について、議会のチェック機能が活かされるようにすべきと考えるか。

財政課長 入札に関しては、町の全面関与と指導が必要である。県の指導等も受け、議会に十分報告し、相談したい。

議長席より

本多副議長 守秘義務の件は、町民の関心も高い。事の顛末について、内部調査の上、本定例会の最終日に町長から議会に報告をされるよう求める。



8月5日オープンする サンウェル

健康交流プラザの今後の 計画・機能や役割を示せ

松 沢 孝 浩 議員

町長

健康・保健・福祉の中核施設、

地域情報化の拠点としたい

問 健康交流プラザの完成に伴う事業計画及び施設の機能や役割を伺いたい。

町長 健康交流プラザ「サンウェル」が8月5日にオープンし、事業実施や管理運営のための準備を進めている。オープン事業として「健康づくり町民のつどい」を新たな形で実施する予定。

「サンウェル」は、健康・保健・福祉の中核施設として、また、地域資源を活用し情報化時代に対応した地域間交流の活動拠点としての役割を担う施設である。

施設内には、保健情報室や社会福祉協議会事務局、ホームヘルパーステーションが入り、リハビリや検診といった健康センター機能

の大幅な拡充や福祉と連携した保健事業の展開、健康相談業務の実施など気軽に相談できる体制づくりに寄与する。

また、町民のやすらぎ・交流の機会を目標に掲げ、町づくり談話室を拠点として、ボランティア活動の育成・支援など情報交換の場として活用するほか、地域情報の促進を目的とした「情報考房入善」の運営、発信に取り組み。

問 「サンウェル」オープンに伴う町営バスの路線見直しについて

町営バスの路線と安全対策について

問 「サンウェル」オープンに伴う町営バスの路線見直しについて

在の設備について問う。

町長 現在の4路線は、町民会館を起点終点としているが、「サンウェル」オープンにあわせ、延長する作業を進めている。いいかえれば、奇数偶数日に拘わらず、毎日3往復6便が「サンウェル」を通ることになり利用を図る。今しばらく現行の1台で試行を重ね、利用者の意見を反映できるように、対応したい。

問 現在の町営バスは、乗員数38名に対し、座席が14席と車椅子2台の対応である。しかし、つり革や、てすりなどの安全対策がない。座席に座ることのできない高齢者の方々は、床に座るなどしている。乗車率や現在の設備について問う。

循環型社会形成推進 基本法成立に伴う対応は

大橋 美椰子 議員

町長

利用されなくなった公共施設の 有効活用を考える



あなたの意識が環境を変える

問 大量生産、大量消費、大量廃棄型の、日本の社会システムそのものを抜本的に転換することが目的であり、次の世代の子供たちの安全と生命を守ることはもちろん、地方の財政赤字を解決するためにも循環型に変えなければならぬ。

資源保護、リサイクル、ごみの減量、ポイ捨て条例の意義と効果、町の取り組みを具体的に示せ。

町長 マイバック運動、リサイクル商品の購入の奨励、過剰包装の自粛、生ごみ処理の普及促進、常設ステーション再生広場の増設、容器包装リサイクル法に基づく容器類の収集の早期実施の検討など行っていく所存。昨年10月1日に施行した「ポイ捨て条例」町民の意識は今一つ。監視のため

のパトロールの強化、環境保全監視員の協力、担当課までの連絡等、「ポイ捨て」は「恥ずべき事だ」という意識を持つことを町民に粘り強く指導する。

介護保険制度

2か月

問 市町村が独自に介護サービス量の量や、費用負担の割合を決められる制度とされておられ、それによって利用者側の保険料が決まると聞いているが内容はどうか。

町長 制度施行前と比較し提供量に大きな変化は見られない。費用負担の変化は家事介護1時間につき、222円、身体介護402円、デイサービスの利用者は、要介護度により1000円〜1300円、所得税非課税の世帯は介護報酬の3%に減額、特養入居者は増額負担にならないよう調整、65才以上の10月からの保険料の徴収は介護保険の説明会や広報などで理解を求めていく。

男女共同参画 社会づくり

問 6月は「男女雇用機会均等月間」とし推進月間となっている。均等法に沿った企業の積極的取り組み（ポジティブ・アクション）が図られている。役場内の明示を求めます。

町長 長期的な展望にたつて男女格差を是正し、積極的な女性の管理職などへの登用も検討している。啓蒙、啓発活動を積極的に進める。



窓口無料化は子育て支援

予定価格の事前公表を

試行する考えはあるか

九里 郁子 議員

財政課長

実施自治体を参考に検討したい

問 町は昨年度から、契約締結後に予定価格を公表している。

11年度の落札率は予定価格の平均93・4%。土木・建築一般が91・1%であるのに対し、下水道工事は96%、98・5%と高い。

1、設計金額が500万円以上の工事について、直接工事費と、予定価格を入札執行前に、試行的に数件公表すること。

2、入札の際に、500万円以上の工事見積内訳書の提出を義務づけること。

3、1億5000万円以上の工事について、低入札価格調査制度の導入。

4、発注予定工事の情報を一定期間ごとに公表すること。

と。以上についてどのようなことを考えているか。

財政課長 事前公表は実施自治体を参考に十分検討したい。2・4の質問についても前向きに検討したい。

低所得者の利用 料軽減対象を拡大せよ

問 4月から介護保険実施2カ月で、どのような問題を把握しているか。その対策はどうか。

お年寄りは「ヘルパーさんとうっくり話すこともできない」と、不満であり、ヘルパーはパート雇用が主流になる傾向であり、定着は困難と考えられる。

低所得者の利用料3%への軽減を、一般財源で対応し、デイサービスなどにも

拡げる必要がある。その考えはあるか。6カ月での更新は実態にあっていない。制度改正を国に要請された。

町長 介護度の低い方で希望するサービスが十分利用できない、認定まで約30日

かかるため、希望してもすぐ利用できない等の問題がある。サービス事業者側に需要が増えず経営が苦しいという声もある。町村会等を通じて制度改善を国や県に要望し、よりよい制度の確立に努めていきたい。

低所得者の利用料3%への軽減は、新川地域介護保

険組合の構成市町と連携をとりながら検討したい。

子どもの医療費 は窓口無料化に 改めよ

問 4月から入院費の無料化とあわせて未就学児の医療費すべての無料化が実現し、大変よろこばれている。郡医師会などと相談しながら、窓口無料の「現物給付」

に取り組む考えはないか。健康福祉課長 近隣市町や医療機関と連携をとり、前向きに検討していきたい。

黒部川と富山湾を元の姿に 戻すことは我々の責務

松田俊弘議員



町長

海の底質調査の分析結果に注目したい

問 5月にテレビ局が、ヘドロの様子を放映したが、海藻も魚もいない、まるで砂漠のような様子だった。これでは魚が育つわけがない。

昨日の土砂管理協議会において町長は次のように発言されている。「漁獲量が減って漁民は大変心配して

入善沖のヘドロ

いる。平成3年前の調査結果があるなら現在との比較をしてほしい。どのように変わっているのか漁業者に答えてほしい」。この言葉を高く評価するが、町長は過去に排砂されたヘドロはその後どうなったか、建設省や関西電力からどのような報告を受けているか。

町長 関西電力からは何も報告を受けていない。

問 このことが今まで放置されてきた原因は、関西電力及び建設省の不誠実な態度と補償の問題で不可解な態度をとってきた県漁連の姿勢にもあるが、地元の漁業者、農業関係者が排砂評価委員会に含まれていないからである。町長は排砂評価委員会に地元の漁民や農民の代表を含めるように関係機関に働きかけるべきである。

町長 土砂管理協議会にそれらの皆さんの意見が反映されるようにと申し上げた。

養殖事業は白紙に戻すべき

問 横山漁協では養殖事業に加わるかどうかは、現段階では全く白紙である。

飯野漁協の決定は理事会で決められたものであり、総会にはかられたものではない。一部の漁業者が総会にかけるべきと主張したが役員は、突っぱねた。

この事業の町の子算の原資は、県漁連が町に寄付した5億円であり、県漁連はこれを排砂問題に関連して関西電力から得ているものである。関西電力と県漁連の補償金問題は不明朗な部分が多く、寄付についても漁民は納得していない。

養殖事業は当初から県漁連と町が漁民に押し付けてきたものであり、白紙に戻すべきである。

大角農水課長 飯野、吉原の2漁協が合併に向けて基本設計の作業を進め、横山へ情報を提供する事で了承を得ている。

問 漁民は、ヘドロのおかげでもう漁師を続ける事ができるかどうかの瀬戸際にまで追い込まれている。

町は漁業振興を唱えるなら、さらに漁民を苦境に追い込むような養殖事業を白紙に戻し、ヘドロ対策に予算をつぎ込むべきである。助役 養殖事業もヘドロ対策も同じように緊急である。

増え続ける公共施設の 維持管理費に英知を

広瀬 喜代志 議員

町長

施設の統廃合、業務の 民間委託など検討



21世紀の維持管理費に工夫を

問 町民の政治に対する要望は多様化し、歴代の町長がそれぞれの目的で数多くの施設を建設されたが、その結果その維持対応に膨大な経費を要することになっている。これ等の問題に対して当局はどのように考えているか。

町の施設70箇所、
経費は4億3000万円も

町長 経費の主なものを見ると、人件費約7000万円、電気料など約8500万円、燃料費が約3100万円、施設などの管理委託料が約9500万円、機器設備の保守点検手数料が約1700万円、臨時的な経費として建物の修繕費などが約9400万円となっている。

対応策として施設の統廃合と競争の原理を導入、民間委託にも一考を要したい。

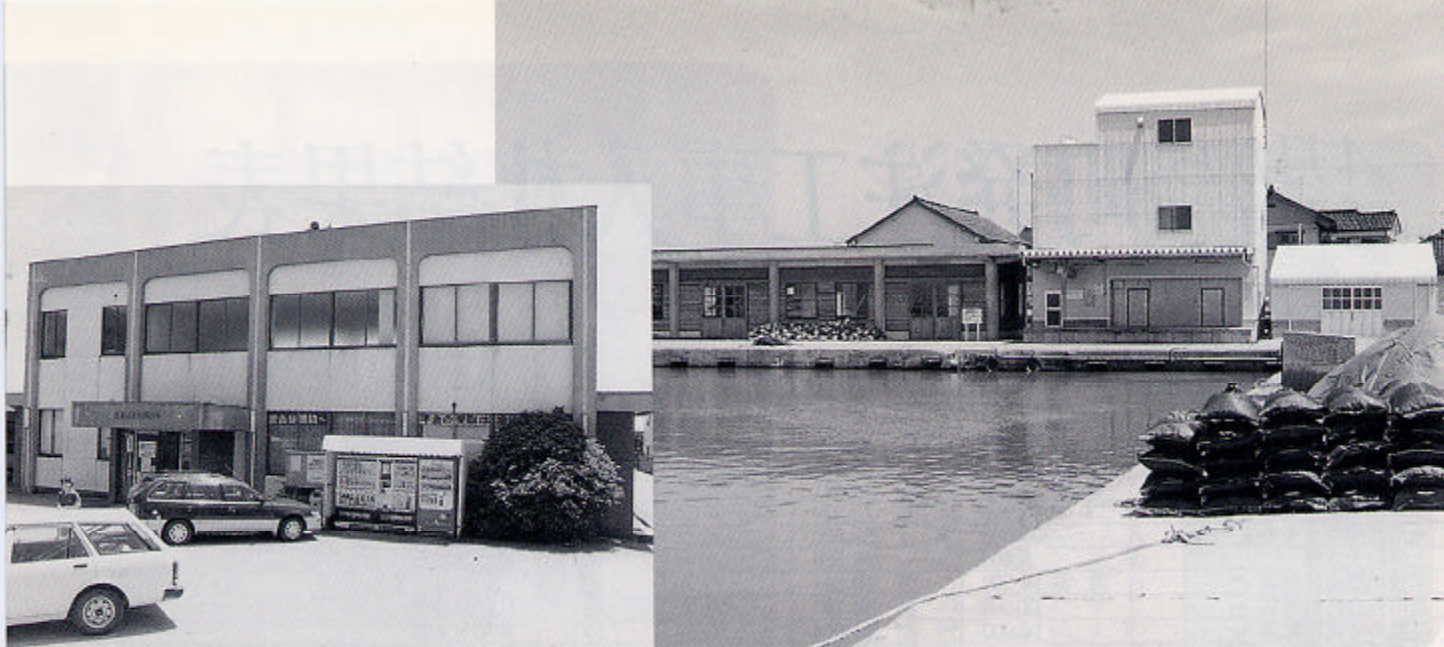
輻輳する社会情勢
に関して町長は町民に対して何をすべきか

問 前助役をされた方が来年の町長選に出馬を表明されたが、そのことと共に基本理念をお聞きしたい。

町長 行政改革に職員一丸となってやる。

総合計画達成のため日々全力をあげる。

町長の任期を一年四か月残しているが、町では現在、少子化、人口減、深層水など多くの問題を抱えている。このような中で、私は改めて町民のため町政発展のため精いっぱい取り組んでいきたい。



漁 協 と 漁 港

魔法の水、未来の資源 海洋深層水 in 入善町

山下 勇 議員

町長

関東や関西経済圏の各企業にPR
企業誘致を実現

問 海洋深層水事業の進捗状況を問う。町は21世紀の夢事業と銘打って県をはじめ水産庁への陳情を重ねてきた。町民の目線から見るとかぎり遅々として進んでいないのではないか。取水施設、養殖施設の建設場所の地元説明など、どのようになっているのか。さらに3漁協の合併問題はどのようなものか。

町長 先月5月22日、3漁協の合併協議会が開催され本年12月1日を合併日とする事が確認された。

問 蓄養、養殖の技術と経営基盤が確立されているか。

町長 海洋深層水課を設置し、養殖施設準備センター

を設け県水産公社職員のアドバイスを受け、県水産試験場、漁業協同組合連合会等と連携し技術指導や経営基盤の確立に努めていく。

問 非水産部門の見通しについて。

町長 新規産業活動の誘発誘致を目指す深層水利用に対する問い合わせも、町内企業や県外企業から受けている。合わせて深層水を活用した町民福祉や交流ゾーンととらえながら、「名水の町」「海洋深層水の町」を広くPRする。

問 企業誘致に対する姿勢として入善町は新規企業の進出が久しく途絶えている。景気が低迷し、地元企業の採用もなく、21世紀を担う青年の職場が極めて狭き門であり、町の活性化、雇用の拡大、人材の育成の観点から企業の誘致に取り組むべきと考えるが。

町長 2010年には2万5000人に割り込むと予測される町の人口、少子高齢化に伴う労働人口の減少、税の減収など危機感を伴う重要な問題であり、町では13年度からスタートする新総合計画の中でも企業誘致を最優先課題に位置付け、海洋深層水、バイオテクノ

企業誘致に
取り組むべき

ロジー、IT情報技術産業など計画している。

企業誘致を押し進めていく条件としては水、土地、労働力、交通などが挙げられ、入善町はそれら条件をすべて兼ね備えている。産業振興の停滞などの打開を図るには町が誇れる水資源を最大限に活用した産業の育成、誘致が必要であり、14年度からの黒部大橋の開通に伴ない商工業の進出も活発化するものと考えられる。また、飯野地区においては広大な田園と湧水、海岸線など地域資源に恵まれている。

4月から6月まで 町発注工事入札結果表

単位 千円

工 事 名	請負金額	予定価格	落札率(%)	入札回数	落札業者	備 考
一 般 工 事						
電算室セキュリティ	1,330	1,372	96.9	1	㈱インテック	
デイサービスセンター植栽	2,780	2,783	99.9	1	㈱浅倉造園土木	
中央公園植栽委託	1,980	1,992	99.4	2	㈱愛場農園造園土木	
システム機器一式	38,800	39,198	98.9	1	㈱インテック	
新川むつみ園倉庫	9,400	9,400	100.0	2	広川建設工業㈱	
漁港海岸保全その3	4,800	4,941	97.1	1	㈱島田工務店	
漁港海岸保全その2	18,200	18,924	96.2	1	竹田建設	
漁港海岸保全その1	250,000	259,800	96.2	1	坂田建設㈱	
上野防火水槽	5,400	5,569	97.0	1	吉原建設㈱	
平曾川国道線舗装	19,300	19,321	99.9	1	広川建設工業㈱	
道市外6路線舗装	14,600	14,793	98.7	1	桜井建設㈱	
高瀬外4路線舗装	14,000	14,074	99.5	1	共和土木㈱	
特養ホーム造成	9,500	9,849	96.5	1	日本海建設運輸㈱	
墓ノ木公園さく井	3,490	3,882	89.9	1	㈱上田管工事工業所	
交流プラザシステム機器	18,300	18,300	100.0	1	㈱富山データーセンター	
交流プラザリハビリ機器	8,500	8,500	100.0	1	中川医療器械店	
サイン化事業その1	15,500	15,752	98.4	1	㈱ヤマシタ	
あくり館冷暖房	3,200	3,358	95.3	2	前田電気商会	
桃李小学校ナイター	7,500	7,804	96.1	1	㈱長島電気工事	
園家地区道路舗装	6,600	6,943	95.1	1	共和土木㈱	
中沢地区道路舗装	6,000	6,699	89.6	1	小川建設工業㈱	
入善地区水路	11,730	12,052	97.3	1	㈱大豊建設	
漁村センター冷暖房	19,850	20,281	97.9	1	藤田工業㈱	
計	490,760	505,587	97.1			
特 定 環 境 下 水						
入善第8工区	5,400	5,414	99.7	1	㈱木村造園土木	抽選
入善第25工区	17,410	21,657	80.4	1	五十里建設	制限価格以下1
入善第26工区	29,900	36,229	82.5	1	㈱杉沢組	
入善第19工区	12,690	14,842	85.5	1	㈱宝泉工務店	
入善第20工区	39,000	40,241	96.9	1	前田組	
計	104,400	118,383	88.2			
農 業 集 落 排 水						
小摺戸第Ⅱ-55工区	10,960	11,469	95.6	2	㈱草建工	
小摺戸第Ⅱ-54工区	14,500	14,728	98.5	2	稲村組	
小摺戸第Ⅱ-56工区	13,000	13,469	96.5	1	㈱ノザワ	
小摺戸第Ⅱ-59工区	21,900	27,274	80.2	1	大勝建設㈱	制限価格以下3
小摺戸第Ⅱ-60工区	20,000	21,430	93.3	2	㈱坪野組	
小摺戸第Ⅱ-62工区	38,000	41,888	90.7	1	笹島建設㈱	
小摺戸第Ⅱ-61工区	29,500	29,797	99.0	1	寺林建設㈱	
小摺戸第Ⅱ-57工区	29,000	30,178	96.1	1	高田建設㈱	
小摺戸第Ⅰ-27工区	13,100	13,316	98.4	1	㈱泉建設	
小摺戸舗装復旧	8,400	8,531	98.5	1	小川建設工業㈱	
小摺戸舗装復旧 一宿	9,300	9,554	97.3	1	広川建設工業㈱	
小摺戸第Ⅱ-63工区	25,800	28,541	90.4	1	笹島建設㈱	
小摺戸第Ⅰ-28工区	33,000	33,510	98.5	1	石川建設㈱	
小摺戸第Ⅰ-30工区	27,750	33,510	82.8	1	黒隆工業㈱	
小摺戸第Ⅰ-29工区	15,500	19,380	80.0	1	古川建設	制限価格以下3
小摺戸第Ⅰ-31工区	19,350	24,246	79.8	1	㈱水野建設	制限価格以下1
小摺戸第Ⅰ-32工区	20,800	26,043	79.9	1	㈱白又組	制限価格以下1
計	349,860	386,864	90.4			
公 共 下 水 道						
入善舗装復旧	10,400	11,821	88.0	1	広川建設工業㈱	
入善舗装復旧その2	8,400	9,719	86.4	1	広川建設工業㈱	
認可設計業務委託	16,700	17,338	96.3	1	日本水工設計㈱	
入善浄化センターさく井	9,000	9,836	91.5	1	藤田工業㈱	
西蓮寺線外舗装	3,400	3,591	94.7	1	広川建設工業㈱	
計	47,900	52,305	91.6			
総 計	992,920	1,063,139	93.4			

☆第1四半期は設計、会計検査等で発注が少なく、工事の閑散期のため、受注競争が一層激化している。

その為、制限価格以下の応札が多く見られ、失格業者が続出した。

☆工事発注の平準化が望まれており、発注業務、予算執行の促進に努力されたい。

☆落札率平均93・4%であり、約7000万円節約したことになる。

☆今回より町が入札、契約執行する全てを掲載。

☆入札、契約の最近の傾向

公共工事の入札は談合を始め、諸問題を改善するため、全国的に種々の方策が試みられている。

◇予定価格の事前公表

◇指名業者抽選による入札

◇工事価格の積算、見積、内訳書の添付入札

◇提案（VE案）制度の採用

◇総合評価方式による契約等が、試行されている。

研修視察記

産業建設

商店街の活性化と 生ごみ堆肥化を学ぶ

産業経済常任委員会は、5月24日～26日、山形県高島町と長井市を視察した。

高島町は、奥羽本線を利用した山形新幹線高島駅が温泉施設になっている。改札口の横が温泉の入口になっており、入湯料200円で朝7時から夜10時まで利用できるためか、平成10年の入湯者は25万人。

駅前には500台の無料駐車場があり、駅の利用者は数倍、街での買い物客も増えたとのこと。

商店街振興会は街の活性化に力を入れており、新聞

やテレビで紹介されたこと

もあり、視察団が相次いでいる。町をあげて「ふれあい」「手作り」「低コスト」に取り組み、その一つに「花の散歩道」を合言葉にプランターを置いて彩り、また店舗の一角や空店舗を活用して、昭和時代の生活用品を展示したり、映画を上映する「昭和ミニ資料館」としている。現在14館開設している。

長井市は人口3万2000人余、9000世帯。一般

家庭5000世帯、総合病院、学校、事業所の生ごみ



生ごみ回収器の説明をうける

と家畜の排泄物、椀ガラを原材料として優良な堆肥を生産し、農協に委託販売をしている。生ごみの減量に大いに役立ち、堆肥は野菜づくり、米づくりに活用されている。小学校の副教

材として環境学習にも生かされている。

処理施設の臭いの処理はまだまだ改善されなければならぬ感がある。

入善町での導入は難しいと思うが、長井市では市民は大変協力的で、成果をあげていると思った。

何事も誰かがやる、やってみようのでなく、自らの体と知恵で町づくりを推進することの大切さを感じた。

産業建設常任委員

大橋 美椰子

教育福祉環境

福祉の一元化をはかる

5月31日～6月2日、視察地・宮城県玉造郡岩出山町の「あったか村の地域福祉センター」を訪問し、「少子高齢化と地域福祉施設」について研修した。

岩出山町は伊達政宗公の城下町として栄えた歴史的な町で、現在人口1万4542人である。

佐藤仁一町長から「地域の個性や文化、風土を蘇生させるとともに、若者が定住できる社会資本の整備、少子高齢化社会や、地球規



生き生き学童保育

・福祉施設を有機的に集約し、生きがい、障害者授産所、保育所、児童館運営を展開している。いわば、乳児からお年寄りまで健康者も障害者も、全ての人が分け隔てなく利用できる住民サービスの拠点となっている。必然的にセンター内には役場の

模での環境問題に対応しながら、住民と協同、共感を享受できる21世紀への歩みを創造して行くべきと思う」と熱情あふれる雄弁な挨拶をうけた。

助役も要らないような明快なビジョン、若さと行動力に溢れた町長の対応ぶりに一行は圧倒された。

「あったか村」とは地域福祉の拠点、あったかな郷づくりであり、「炉端を囲む」という発想である。

町の中心部に保健・医療

健康福祉課、社会福祉協議会、ヘルパーステーション、ボランティアセンター、給食センター、デイサービスセンター、子育て支援センターが同居して情報の連携をはかり、サービスイキを一元化している。

入善町も、「住民主役のまちづくり」を推進するために大いに見習い、研究すべきである。ここを後にして、東京の環境博覧会、江東区の「樹木有機堆肥化事業」を視察したが、紙面の都合で掲載は別の機会にさせて頂きたい。

教育福祉環境常任委員会

副委員長 東狐 和

マリナーが欲しい

入吉会

会長 西野 忠 市

私達の会は、吉原海岸を拠点に舟釣りを楽しんでいる趣味の会です。
 会員は、入善町民で構成され、
 ○海難事故を起こさない。
 ○漁業者に迷惑をかけない。
 ○海岸の美化に努める。
 ○会員相互の親睦を図る。
 をモットーに平成元年に結成

され、活発に活動を行っています。
 吉原は好漁場で、諸々の魚種が釣れ、キャブテンとしてシーマンとして、海のマナーを守り、日夜奮闘しております。
 釣りは勿論、海岸の清掃、道路の整備及び草刈りを年3回程実施し、環境の美化を図

町民のみなさん、議会を傍聴してみませんか。つぎの定例会は9月です。

ついでいます。
 会員の話題に常にのぼる事は、舟の繋留場のことです。石田や経田のマリナー程でなくとも、小さな港（船着場）があれば大変助かるという事です。

これからの高齢化社会、そして余暇時間の増大と共に釣り人口の増加も予想されます。ぜひ私達の夢が実現しますよう、町民のみなさんと議会のご理解、ご協力をお願いいたします。

傍聴席からひとこと



横田みちるさん
 (芦崎)

(芦崎)

初めての議会傍聴に緊張しながらも、また今回のような一般質問があるのか、その答弁に期待して議場に入りました。
 広々とした議場内は、静寂そのもので、これから始まる質問、答弁の熱いやり取りを思わせるものでした。
 また、毎回議会傍聴に出席している方もいて、町民の皆さんの町政、議会に対する期待がうかがえました。
 4月から実施された介護保険制度について町独自の見直しや問題点が質問されたり、また、出し平タムの排砂や深層水事業に対する質問など、これからの町事業について熱心に

質問、答弁する姿に感動しました。
 特に介護保険制度については、今まで関心が薄かったのですが、今回、興味深く聞かせてもらい、改めて介護保険について学びたいと思いました。
 町民の代表者として、町民の声を行政に届けるための議会に出席できて大変勉強になりました。これからの町行政を注目していくと共に、自分自身、保育所の職員として、町民の皆さんの声をしっかりと聞き、地域のニーズに答えられる保育所の在り方を保育所の仲間と共に勉強して行こうと思えました。

編集の窓

◇ 年間10、000人の方が交通事故で、32、000人の方が自殺で亡くなるという。これは黒部市の人口以上の市が日本から消えていく事になり、毎日、15人の方が亡くなる事に貴方はどの様に考えるか。
 世の中が悪いのか、人が弱くなったのだろうか。

◇ 一方、17才による凶悪な犯罪が多発している。
 青少年から真顔で何故、人を殺してはいけないのかと質問されたとき貴方はどのように答えますか、常識だけで通じるのだろうか。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本多 幸男
- 副委員長 元島 正隆
- 委員 大橋美椰子
- 委員 谷口 一男
- 委員 谷 昌典
- 委員 九里 郁子